学校番号	J3026

令和８年度　美術科

学年	3	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	美術 2・3（開隆堂）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業説明は主に、スライド、プリント、教科書を用います。プリントを整理するファイル等を各自、用意してください。 評価は、表現に関しては完成作品に至るまでの知識、技術、プロセス、試行錯誤や積極的な取り組みも評価します。鑑賞においても知識理解を深め、ものの見方を広げ、意欲的に鑑賞することを評価します。

2　学習の到達目標

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて自分の表現方法を追求し，創造的に表すことができるようにする。
(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，機能性と洗練された美しさとの調和，美術の働きなどについて独創的・総合的に考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・想像的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	モダンテクニックによる感動の表現	スパッタリング、デカルコマニー、ステンシルなどの技法を使い、自分にとって印象深い「感動」を視覚的に表現する。	a：モダンアートの技法とその多様 な表現効果を理解する。 b：「感動」に対する思いや印象と技法と関連性を考え表現する。 c：自由な表現を楽しみ、主体的に制作に取り組む。	作品・テスト	授業プリント・作品・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
	デュシャン《泉》と現代美術の鑑賞	デュシャンの《泉》を通して、現代美術の「概念」「問い」「価値観」などについて考察する。	a：現代美術における新しい表現技法や背景を理解する。 b：作品の意味を多面的に考察し、アート思考を養う。 c：現代美術に関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組む。	授業プリント・テスト	授業プリント・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
2学期	粘土彫刻による「不可視なもの」の表現	石粉粘土を用いて、感情・記憶・時間・関係性など、目に見えないものをテーマに立体作品として表現する。	a：彫刻における形態や量感、抽象化・象徴化などの表現方法を理解する。 b：表したい「不可視なもの」のイメージをもとに、形や構成を工夫して立体的に表現する。 c：発想を広げながら試行錯誤し、主体的に制作に取り組む。	作品・テスト	作品・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
	彫刻作品の鑑賞と「不可視」の考察	オーギュスト・ロダン、アルベルト・ジャコメッティ、コンスタンティン・ブランクーシなどの作品を通して、形がどのように感情や概念を表しているかを考える。	a：形や量感による表現の特徴を理解する。 b：形から意味や印象を読み取り、多面的に考察する。 c：彫刻の見方に関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組む。	授業プリント・テスト	授業プリント・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
3学期	缶バッチで伝えるデザイン	使用目的（啓発・応援・ファッションなど）と使用者として身近な人物を設定し、それにふさわしい缶バッチをデザイン・制作する。	a：目的に応じたデザイン構成を理解する。 b：対象と伝えたい内容を結びつけてデザインを考える。 c：身近な題材に意欲的・創造的に取り組む。	作品・テスト	作品・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト
	サブカルチャーと日本の現代美術の鑑賞	アニメ、ゲーム、マンガなどをモチーフにした現代アートや、日本のサブカルチャーが海外に与える影響について鑑賞・考察する。	a：現代日本のサブカルチャー表現の背景と特徴を理解する。 b：文化的意義や社会的影響を考察し、自分の意見を持つ。 c：身近な文化に主体的に関わり、考察を深める。	授業プリント・テスト	授業プリント・テスト	プロセスポートフォリオ・活動の様子・テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度